

**製品名: ABHD5 (2H2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06440**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,FC 1:100-1:200,IF-P 1:500-1:2000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ABHD5
別名	ABHD5; Abhydrolase domain containing 5; CDS; CGI58; IECN2; NCIE2;
遺伝子 ID	51099.0
SwissProt ID	Q8WTS1
免疫原	ヒト Abhd5 の合成ペプチド

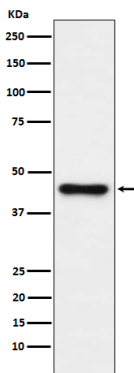
**背景**

ホスファチジン酸合成に関与するリゾホスファチジン酸アシルトランスフェラーゼ。ホスホリパーゼ PNPLA2 の活性化を介して、トリアシルグリセロールの細胞内貯蔵を制御する可能性がある。ケラチノサイトの分化に関与する。リゾホスファチジン酸へのアシル基の転移を触媒するコエンザイム A 依存性リゾホスファチジン酸アシルトランスフェラーゼ (PubMed:18606822)。脂質受容体としては、1-オレオイルリゾホスファチジン酸、次いで 1-パルミトイルリゾホスファチジン酸、1-ステアロイルリゾホスファチジン酸、および 1-アラキドノイルリゾホスファチジン酸を優先的に機能する。アシル基供与体としては、アラキドノイル CoA、次いでオレオイル CoA を優先的に機能する (類似性による)。ホスファチジン酸合成に機能する (PubMed:18606822)。ホスホリパーゼ PNPLA2 の活性化を介してトリアシルグリセロールの細胞内貯蔵を制御する可能性がある (PubMed:16679289)。ケラチノサイトの分化に関与する (PubMed:18832586)。脂肪滴の融合を制御する (類似性による)。

## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の ABHD5 発現のウエスタン プロット解析。